



第4号

港北区体育指導委員
連絡協議会広報紙

港の生指

KOHOKU

No. 4

平成9年12月1日発行

発行者
港北区体育指導委員連絡協議会

編集
港北区体指協広報委員会

事務局
港北区大豆戸町26-1
港北区役所地域振興課内
☎ 045-540-2240
FAX 045-540-2245



大阪・なみはや国体開会式 見聞録

港北区体育指導委員連絡協議会副会長 小沢 正信
監事 野本 征治

10月25日、まだ薄暗い午前6時にわれわれは新横浜駅前に集合していた。メンバーは体指協2名、体育協会2名、事務局2名の計6人である。

目指すは大阪市東住吉区、長居陸上競技場。第52回なみはや国体の開会式会場である。港北区内において現在建設中の国際総合競技場は、来年の第53回かながわ・ゆめ国体の開会式に使用される予定となっている。そこで、長居陸上競技場での地元の対応を調査することで、地元区としての来年の対応の参考とすることが、今回の視察の第一の目的であった。

陸上競技場のある長居公園に着くと警察官の姿が目立ち、ものものしい雰囲気包まれていた。が、公園の中は警官に代わってボランティアとおぼしきスタッフが多数配置されており、厳しいイメージを和らげていた。ただ、会場内に多数ある案内のブースに同じ事を尋ねても、スタッフにより回答が異なることもあり、細かい部分については十分に指示が行き渡っていない印象が残った。

開会式は、天皇皇后両陛下御臨席とあつての警備上の都合であろうが、入場締切から式典開始までの時間の長さにはやや辟易したもの、式典前演技のマスゲーム、入場行進とも滞りなく行われた。

しかし今回の開会式の見せ場は式典終了後にあった。38年ぶりという薄暮型開会式は花火、レーザー光線、スモークを使った派手なものだったが、同時に観客にも蛍光物質入りの小旗を持たせることで、観客も一体となって開会式に参加していると認識させる演出が巧みであった。

式典終了後演技の鮮やかな印象もあり、総じて見事な

開会式であったが、同時にこれほどまでに手間暇かけて派手に行く必要があるのか、疑問を感じる部分もあった。今後の国体開催県の中には、なみはや国体の豪華路線とは距離を置くことにした自治体もあると聞く。

翌26日には体操競技会場の大阪市立中央体育館へと向かった。これは、横浜アリーナがゆめ国体の体操競技会場に予定されているためである。中央体育館は半地下式のドーム型競技場であったが、遠くから見て公園の築山とっていたものが体育館であったのには軽いショックを覚えた。場内では、男子6種目、女子4種目を同時に行っており、目移りしてしまい非常にせわしない印象があつて細かく競技を見るのは無理だった。

この会場の休憩所で係員に声を掛けてみたところ、その係員はまさしく体育指導委員であった。彼は場内整備の担当として頑張っているとのこと、確認はできなかったが場内整備の体指が他にもいたようである。その他に見聞きした範囲では、休憩所の係員には地元の飲食店関係者が、街中の案内所には市民ボランティア（全体では3,000人以上いるとのこと）が配置されていた。

2日間の視察を終えての印象はまず式典・施設両面の物量作戦の豪華さであり、これには疑問の余地もあったが、同時に観客参加型の開会式や多数の市民ボランティアの起用など、国民体育大会の名に相応しいものにしていくという努力がなされていた。この辺りは、来るかながわ・ゆめ国体においても拡大継承される路線でもある。県民一人ひとりがさまざまな形で参加する国体を目指して、今後さらに情報収集に努め、1年後に向け行政とも連携しゆめ国体を盛り上げてゆきたいと思った。

'97 健民祭 … 区内13地区よりの報告

高田地区 宮田 寿雄

10月12日24回目の健民祭が高田小学校で盛大に行なわれました。健民祭運営に関し20余年間色々試行錯誤がありました。ここ4～5年は現状で落ち着いています。町会+体指+青指のスタッフで役割分担を決め準備、本番、片付けに当たります。競技参加者多数の為(100～300人)選手整理がひと苦労です。その上入賞者には(参加賞は別)豪華(?)賞品が用意されているのでこの準備が大変です。賞品担当は青指の皆様ですがそのご苦労には頭が下がります。大変さを一部ご披露しますと賞品選び(野菜、玩具、文具、菓子等)単価、総量、買い出し、仕分け等1ヵ月くらい準備期間が必要です。尚、今年は雨天延期となりその間の賞品管理も頭痛の種でした。(個人の保冷庫へ)お陰様で賞品稼ぎ?が沢山あり今年も盛況な健民祭が出来ました。

新羽地区 飯島 晃

10月19日朝6時30分新羽中学校校庭の上空へ4発の花火が打ち上げられました。健民祭OKのGOサインです。区選出の議員の皆様、連合会長、7町会会長の見守るなか、8時30分新田小学校マーチングバンドを先頭に千余名の堂々の入場行進でした。新規に小学生用に2種目とフリー参加の玉入れの3種目をプログラムに加えました。第20回大会を記念してはじめたウルトラクイズ、これは出来るだけ地域に関連した出題を考えています。大変好評を博していました。

さらに今年は各町会の責任者の方に仮装してもらい場内を一周して頂くという趣向を凝らし、各町会の皆様より絶大なる拍手を頂きました。

これからも幅広く住民の皆様がたくさん参加して頂ける様にプログラムの見直し、或いは健民祭そのものの将来を常に考え続けていきたいと思えます。



城郷地区 竹内 好之

秋晴の空の下で第20回城郷地区健民祭が開催されました。健民祭に先立ち、体指全員で前日夜遅くまで道具を点検準備しました。当日は早朝より各町内会会長と一緒にグラウンド整備を行いました。朝が早いので、数人の方がまだ目がさめないような表情でしたが、各役員は役割ごとに別れ、開会式に間に合う様に手早く行動し終わらせました。プログラムの競技種目は毎年同じですが、その中で一番盛り上がるのは地区別対抗戦であり、ムカデ競争は観客を笑わせる競技です。毎年1位で入賞するチームは矢の根チーム、チーム作りとして連日連夜練習にはげみ、うわさによりますと田んぼの中でやっているとの事です。今回は勝利危うしと思われましたが、みごとにその成果が出て1位となりました。城郷地区にはこれと言うものはありませんが、昼休み中に行われる仮装行列と、体指で開催している競技のデモンストレーションを行います。各町内共怪我もなく、全員が最後まで残り、楽しい一日を過ごしました。



新吉田地区 内田 達

健民祭企画運営は体育指導委員を中心に青少年指導員と各町会より役員3名の協力をお願いし、総勢55名で運営されます。競技には個人と団体があり、団体競技はブロック対抗で得点を競います。

競技に出場する人は参加券が必要で、各町会の世帯数に応じて配分します。競技を盛り上げるため、午前と午後の最後の種目に対抗リレーを組みました。

午前は町会対抗リレーで、スタートは町会の三役(1名)・小学生(男・女各1)・高3～39才以下(男・女各1)・40才以上(男・女各1)計7名です。

午後は男女の5ブロック対抗リレー、特に男子はスピードもさることながら迫力があります。応援する者も身を乗り出しての大声援、フィナーレにふさわしい競技です。

対抗リレーは選手を集めるのが大変との声もありますが、なくてはならない競技だと思います。



新吉田あすなろ地区 千葉 晃一

第7回新吉田あすなろ地区ふれあい運動会は去る10月10日市立新田中学校グラウンドをお借りして開催しました。天候が良く無事に開催が出来て関係者一同に喜んで頂きました。今年の運動会は昨年とプログラムの内容には変更はなく、昨年の運動会終了後反省会にて十分に内容を検討し悪いところは見直し、良いところは更に良くし、運動会は最高に盛りあがりました。次に準備期間ですが第1回目の打合せを8月31日に行い、9月7日に全体会議を行いました。全体会議には連合町内会会長、各町会会長、各町会お手伝いの青少年指導員及び体育指導委員が出席。運動会に使う用具の準備は9月28日、10月4日と2回に亘り行いました。そして当日は先に述べた様に天候に恵まれ、大に無事終わりました。後片付け後、恒例の反省会にて十分に意見の交換をし、来年に期待し運動会の全日程を終了しました。

篠原地区 宮崎 裕子

毎年10月第3日曜日、13町会が一同に会し、武相学園グラウンドにて健民祭が開催される。今年は20回記念大会として、豪華賞品が多数当たる“ウルトラクイズ”を最後に行ない、集まった全員が楽しめた。

例年当地区に於いて、皆が盛り上がる各町対抗競技の1つをここで紹介しよう。

題は“食欲の秋”、男女トラック半周づつのタスキリレー。60才代はバナナを、50才代はのり巻1本、40才代串団子、30才代薩摩芋、20才代大福を食べ(口に全部を含めばOK)最後に小学生が墾入りラムネを自分で栓を開け飲み干し、ゴールに走り込む。

今の子供達は、これを飲む機会が減らない為、飲み方で大差がつき、例年最後の逆転劇が生じる。又、今年はお芋も少々大きかった為、水を飲みながらも悪戦苦闘した人が多かった。日頃の紳士淑女も、この時ばかりは……?

日吉地区 堤 君代

平成9年10月19日、晴天の中に日吉地区健民祭が昨年に引き続き青少年指導員のご協力を得て挙行されました。

日吉地区は他の地区と異なり、球技を主体にした大会で、3会場に分散して少年ソフトボール・少年少女ミニバスケットボール・一般男子ソフトボール・ゲートボール・家庭婦人バスケットボールの5種目を実施。高校生以外の全ての年齢の方が参加できる態勢が特徴です。

健民祭に向けた体指の活動の流れは、次のとおりです。

- ①準備期間 2か月前：種目選定、予算案作成、代表者会議開催
1か月前：出場者名簿の整理、プラカードの作成
2週間前：プログラムの作成、記念品等の準備

②大会当日 種目別チームによる合同開会式は壮観そのものです。

また、各町会長さんに種目別責任者となって頂きました。

③設営、片付け 準備・後片付けは総て、全員で行う習わしです。

④その他 お手伝いの皆様へのお礼を兼ねた反省会もなごやかな内に実施、盛り上がりは最高のものでした。



樽町地区 木村 繁

樽町の健民祭は平成9年度で17回になりました。9回くらいまでは毎年実施していましたが、「飽きぐる」「マンネリになる」などの理由から隔年の実施になり今回に至っています。

競技種目は15で、対象別では、幼児2、小学生5、中学生以上成人5、老人1となります。その内「綱引き」「ボールおくり」「玉入れ」「リレー」が町会別対抗競技になっています。

対抗競技は雰囲気盛り上げる効果があるものの、勝敗にこだわり過ぎルール違反が目につくことがあります。玉入れも止めの合図をしても投げため、一人に3個玉を持たせ、それを入れる競技に変えました。運動といえるかどうか疑問がありますが苦肉の策です。

準備や運営には特に問題はありますが、参加者に片寄りがあることが気にかかります。幼児や小学生それに付き添う母親は多く見られますが、成人の男子となると町会の役員関係がほとんどでそれ以外の人はほんのわずかになってしまいます。また、中学生や高校生などは皆無に近いためリレーの選手を捜すのに苦労しているようです。参加者を増やすには、地域住民の連帯感を強め日常の交流を密にするしかないと思われます。そのための健民祭なのですが。

大曾根地区 蓮田 雅弘

大曾根自治連合会の健民祭は10月12日に秋晴れの下で開催されました。

大曾根では健民祭の企画、立案は体指に任されています。そのため、体指は7月よりプログラムの検討に入ります。基本的には安全であること、各年齢層が参加できること、競技性のあること、話題性のあること。以上の一見矛盾するようなテーマに沿ってプログラムが決定されます。今回は会場が横浜銀行グラウンドから狭い大曾根小学校校庭に変わるといふスペースの問題も絡み幾度となく検討を加えました。安全の面からはフィールド競技を増やすこと、各層参加の面からは大曾根が港北区で高齢化率が一番高いことから60歳以上の参加を多くすること及び障害者も健常者と一緒競技出来るよう配慮すること、話題性の面については競技にインディアカとベタンクを取り入れることなどを配慮して作成しました。大曾根の特徴は賞品に現れます。参加者全員に優劣なく渡される賞品の手配はすべて大曾根商店街にお願いしていますが好評です。持ちきれない程の賞品を手に入れた帰りの姿は微笑ましいものがあります。最後に、一人の負傷者もなかったことが私たち大曾根体指の自慢です。

シーズンが故障と言うハプニング。すべて順調とはいかないようです。

師岡地区 中村 周一

毎年する雨の心配もなく、抜けるような青空の下、第6回師岡地区健民祭は9月28日に行われました。4町会合同のこの行事も1,000名近い町民の参加を得、今や師岡の一大イベントとなりました。恒例の応援合戦は年々エスカレート、各町会アイデアを捻出するのが大変、当日直前まで秘密練習が行われました。応援合戦・綱引き・リレー決勝と続く午後の応援席は一気にボルテージが上がります。その得点により優勝町会が決まるからです。赤・黄・白・青と各町会の旗が打ち振られる中、リレー1位のアンカーがテープを切ると共に興奮も治まり最終種目が始まります。当日の即席ペアでトラックを半周しビンゴカードを貰い、所定の位置に着くが列は仲々切れません。“ビンゴ”



綱島地区 大谷 幸弘

本年も盛大に当綱島スポーツフェスティバルが開催されました。合計で20の種目が実施されましたが、少しでも盛り上げようと、内8種目が各町会の対抗種目となっております。中でも大縄とびは、各町会より、大人10人、子供12人（内2人は大人のまわし手）が参加し、大人と子供のそれぞれ飛べた回数で勝敗を競うというのですが、スリル有り、笑い有りの楽しい競技ということで、毎年、賑わっております。又、最後のトリということで、年代別リレーが行なわれました。各町会より11人が選出されますが、子供から大人へバトンが渡される光景は、誰もが熱狂する競技です。その他、昼休みを利用してグラウンドゴルフとベタンクのデモンストラーションが行なわれました。毎年、実施種目がほぼ固定されている為、運営もスムーズにいきました。

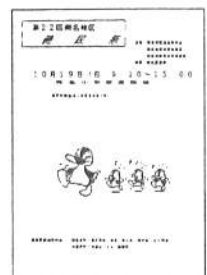


菊名地区 木本 恵美

今年の第22回大会は、10月19日菊名小学校で開催。小学校のご協力もあり、参加者は年々増えています。

菊名地区の特色ある種目は“防災レース”。阪神大地震が起きた日7年から、防災に因んだレースをと考え、助け合いを身近かにとの思いからスタートしました。春の訓練でも活躍する家庭防災員が中心となり、この際に各町会長の顔も覚えてもらおうと言う趣向。三角巾を使った被災者救護の競技は、どの顔も真剣そのものの取り組みで、頼もしさを感じます。

グラウンドゴルフを取り入れた競技や、参加者全員での“仲間を作ろう”などは試行錯誤を重ねています。又、盛り上げる為にと行う町内会対抗種目やリレーは、公平さや人選での苦労もあり、今後の大きな課題のように思えます。他地区の良いアイデア、是非参考にさせて下さい。



太尾地区 白井 保

第27回太尾地区健民祭が10町会・4自治会の参加で体育指導委員・青少年指導員・子供会役員・各町会役員の協力をいただき大綱中学校で10月12日行われた。特色は屋のアトラクションで、大綱小学校5年生鼓笛隊・太尾小学校マーチングバンド・太尾地区少年消防クラブ・太尾パワーズ・太尾FC・太尾サンダース・太尾ミニバスケットの少年少女スポーツクラブの行進と紹介、全国中学校体育大会3種競技で優勝した大綱中学校3年植木秀美さんの表彰式が行われた。プログラムの課題は、親は子の成長を、子は親のパワーを再認識するための「中学生親子対抗リレー」。親子の実力は伯仲エキサイトするが参加組数が減少傾向、方策を考えたい。



こども水泳教室を実施



区内の小学校が夏休みに入った7月26日から31日の6日間、港北区体育指導委員連絡協議会恒例のこども水泳教室が区内大曽根2丁目の大曽根小学校にて開催されました。

このこども水泳教室は、港北体指恒例の事業でしたが、8年度は病原性大腸菌O-157騒ぎと空梅雨による水不足が重なったため、中止のやむなきとなりました。

2年ぶりの開催となった今年度は、参加児童数20名余りと例年に比べるとやや少ないくらいはあったものの、

その分マンツーマンに近い少数精鋭的な水泳教室となりました。

泳力別に3グループに分け、こどもの能力に合わせた指導を行いました。初めは水に顔をつけるのも嫌がっていた子供も水に浮かび、やがては足で進むことができるようになってゆきます。また、もともと泳ぎのできた子供は距離を伸ばし、数十mから100m泳げるようになっていきました。

今年度の水泳教室は、快晴の日こそ少なかったものの、中止になるほどの雨や低温の日はなく、6日間連続でたっぷり練習ができました。また、地元・大曽根地区をはじめとする港北体指各地区の皆様のご尽力により無事故で終了しました。

水泳教室を終えて上達し、自信を持って帰る子供たちの笑顔に、多少人数が少なくても実施して良かったと思うとともに、この感動と自信をより多くの子供たちに味わってもらうためにも、次回は一層宣伝に力を入れねばとも感じました。

アウトドアスポーツ教室を開催

7月6日、鶴見区元宮の鶴見川漕艇場にて港北区アウトドアスポーツ教室(カヌー教室)が開催されました。

この教室は、最近一般に関心を集めているアウトドアスポーツのなかでも人気のあるカヌーを、初心者の方に経験してもらうために港北区役所との共催で実施したものです。

最初にカヌーにかかわる基礎知識の講義を行なった後、いよいよ川に艇を浮かべて実地の指導に移りました。今回は、横浜市カヌー協会所属の方々にインストラクターを担当していただきました。

当日は梅雨時にもかかわらず快晴に恵まれ、真夏を思わせる猛暑となりました。鶴見川の堤防上は酷暑ながらも川面はさすがに爽やかで、涼やかな風が水面に吹くな

かをカラフルな艇が川を上り下りする様は一瞬の涼を感じさせる風景となりました。

日が西に傾く頃、アウトドアスポーツ教室は散会しましたが、アンケート調査による参加者の方の評判も上々で、まずは成功裡に終了しました。



▶▶▶ オリンピック招致活動結果報告 ◀◀◀

2008年夏季五輪招致 国内候補都市
17対29、横浜落選



大阪市に決定
「広域」評価されず



港北区内でも去る6月14日にパレードを行うなどの招致活動を行った2008年オリンピック・パラリンピックの国内開催候補地は、8月13日の選定会議において投票が行われ、残念ながらライバルである大阪市に決定しました。同総会の投票は17対29と、招致活動の立上りで出遅れた事を考慮すれば善戦したととれる結果であり、横浜市の掲げた既存施設の有効活用による首都圏ネットワーク開催などのコンセプトについては一定の理解を得たものの、追い上げかなわず無念の選外に終わりました。

編集後記

スポーツの秋、体指の秋の地区での活動と言えば健民祭。今号は区内他地区の健民祭の状況を知りたい、との声が強く見開き2頁の特集となりました。このため地区紹介コーナーは休載しました。今後とも、広報委員もしくは直接編集部までご要望をお寄せいただければ幸いです。